

17, March.

- 3) 安田清美, 1970: 昭和41年10月12日愛知県渥美半島付近に発生した集中豪雨に関する解析, 第1部: 総観場の特徴と中規模気圧じょう乱, 天気, 17巻, 181~187, 第2部: レーダによる中規模構造, 天気, 17巻, 281~289.
- 4) Matsumoto, S and Y. Tsuneoka, 1969: Some characteristic features of the heavy rainfalls

observed over the western Japan on July 9, 1967, Part 1: Mesoscale structure and short period pulsation, Jour. Met. Soc. Japan, Ser. II vol. 47, No. 4, Part 2: Displacement and life cycle of mesoscale rainfall cells, Jour. Met. Soc. Japan, Ser. II vol. 47, No. 4.

- 5) 小平信彦, 立平良三 1972.: 気象研究ノート第112号, 気象レーダ特集号.

第17期第10回常任理事会議事録

日時 昭和48年6月4日(月) 14h~16h

場所 気象庁海洋気象部会議室

出席者 磯野, 小平, 中山, 二宮, 河村, 窪田, 北川, 大井, 丸山, 駒林, 川村, 伊藤各常任理事

列席者 中村庶務委員

報告

〔庶務〕 東北支部から補充選挙による新役員の報告があった。常任理事に渡辺偉夫, 地方理事に相良大作, 江田三雄の各会員が当選した。

〔天気〕 天気の内容についてアンケートをする。

〔講演企画〕 予稿集の頒布価を650円にしたことについて了承

- 〔南極〕 1. 気象庁主要機関, 気象学講座のある大学, 関連主要大学, 関連学会の代表者あて「第17次南極研究観測への気象部門の参加について」という協力要請文を理事長名で発送した。
2. 秋季大会に「南極の気象」のセッションをもうけ, 研究発表を募集することにし, この分野の観測, 研究の経験のある者に案内状を送付した。

議題

1. 日朝科学技術交流委員会からの要請について 代表団の訪日に際して日本気象学会との交流を促進するための提案に対して, その主旨には賛成し承諾する。予算については別に考慮する。担当理事は, 北川理事とする。

2. 第3回構造物の耐風性に関するシンポジウムについて,

今回は, 当学会が当番学会なので組織委員会を早急に発足させる必要がある。委員候補者として次の各会員を適当と認め全理事に書面審査を依頼することになった。

高橋浩一郎, 伊藤昭三, 窪田正八, 塩谷正雄
相馬清二, 竹内清秀, 花房竜男, 光田 寧

3. 借成会学術奨励金候補者について

ほかに申請がないときは, 岸保勘三郎 会員外5名の「関東地方の海陸風と大気汚染物質の輸送について」を推薦する。

4. 定款および細則の一部改正に伴う措置について

文部大臣の認可があり次第天気に掲載する。そのとき前納金払込み用の振替用紙を綴り込み, 納入を要請する。翌年度繰越金に対する税については, 庶務理事が税務当局につき調査する。

5. 学会奨励金受領候補者選考委員について

次の各会員を適当と認め各理事に書面審査を依頼することになった。

北川信一郎 担当理事
田中 豊頭 雲物理
竹内 清秀 微気象, 応用気象
立平 良三 レーダ
宮沢 清治 総観気象, 力学

承認事項

通常会員白木正規ほか6名および賛助会員明星電気株式会社ほか2社の入会を承認